※令和４年度以降入学生用

| 学校番号 | ３２６ |
|---|---|

# 令和５年度　芸術科

| 教科 | 芸術 | 科目 | 美術Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「高校生の美術２」（日本文教出版） | | | | | | |
| 副教材等 | | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・基礎技術を身につけた上で自分自身の思いや感じ取ったことから表現する発展的な「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、と「鑑賞」の分野について学習します。
・一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。人による違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

## ２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を深め、生活や社会の中の美術文化と深く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
⑴対照や事象をとらえる造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。
⑵造形的な良さや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
⑶主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

## ３　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 創造的な美術の表現をするために必要な知識を得て、技能を身に付け、主題に合った表現方法を工夫し、創造的に表している。 | 感性や想像力を働かせて、自然、自己、社会などを深く見つめ主題を生成し、創造的な表現の構想を練って表現している。 | 美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。 |

※令和４年度以降入学生用

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 一学期 | 絵画<br><br>想定描写 | 立方体表現練習①②③<br>透視図法で表現する。<br><br>透視図法の学習を踏まえた発展的な課題に取り組む。<br>「想定描写」 | a. 透視図法を理解し立体の理論に基づいた表現に意欲関心を持って取り組めているか。b.様々な角度から立方体を構成表現できているか。表現を工夫し明暗、空間、立体感の表現を工夫しているか。c.立体表現に意欲的に取り組めているか、振り返りを行えているか。 | ・練習課題<br>・作品 | ・アイデアプリント<br>・作品 | ・取り組みの姿勢<br>・記録票 |
| | デザイン | 自分を表現するロゴタイプ制作<br>配色を学ぶ | a:配置や構成、配色の効果を考え工夫、表現技術の向上がみられるか。<br>b:アイデアを数多く出し、発想力を伸ばすことができているか。<br>c:自分について考えを深め意欲的に取り組めているか。振り返りを行えているか。 | ・課題プリント<br>・作品 | ・アイデアプリント<br>・作品 | ・取り組みの姿勢<br>・記録票 |
| 二学期 | 鉛筆デッサン・色彩構成 | 鉛筆デッサン<br>身近なものを観察しデッサンする。<br>デッサンをもとに色彩構成を行う。 | a: 対象への客観的な観察、描写から発想し自身の表現構成を行えているか。<br>b: 身近なものを観察し新たな発見ができているか。配色のイメージを表現に生かし、着色の工夫がみられるか。<br>c:自分自身の構成となるよう取り組めているか、 振り返りを行えているか。 | ・課題プリント<br>・作品 | ・下絵<br>・作品 | ・取り組みの姿勢<br>・記録票 |

※令和４年度以降入学生用

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 木版画 | 彫り進み木版<br>版画技法を学ぶ<br>彫刻刀 | a: 木版の技法を理解し、造形的な面白さ　表現の独創性の追求を行えているか。<br>b: 自分を深く知り造形的な面白さ、表現の独創性を追求ができているか。<br>c: 好きな文字と柄を考え意欲的に取り組めているか。<br>振り返りを行えているか。 | ・技法プリント<br>・作品 | ・下絵<br>・作品 | ・取り組みの姿勢<br>・記録票 |
| 三学期 | 想像画 | 不思議な世界をテーマにアクリルガッシュ絵の具による重ね塗りの表現を行う。 | a: 自身のイメージを深めるために表現の工夫、技術の向上がみられるか。<br>b: 自分自身のイメージを意欲的に掘り下げているか。そのためのアイデアや工夫を行えているか。<br>c:創造的に表現しようと自身を深く見つめて、意欲的に取り組めているか。<br>振り返りを行えているか。 | ・制作プリント<br>・作品 | ・アイデアプリント<br>・下絵<br>・作品 | ・取り組みの姿勢<br>・記録票 |
| | | | | | | |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度